

学校評価アンケート結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、保護者の皆様にはご多用中にもかかわらず、学校評価に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様方にアンケートの集計結果の概要をお知らせしますとともに、教職員の自己評価につきましてもその概要をお知らせします。なお、明確になった教育課題につきましては、今後の教育活動に成果をあげられるよう、よりよい学校づくりにつなげていきたいと考えております。今後とも、ご協力・ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

令和6年度 学校評価アンケート【保護者】 回答数 56

- | | |
|---|---|
| <p>☆評価の高い項目
(「そう思う、だいたいそう思う」の項目が90%を超えている)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○学校は、HPや学校だより等で教育活動の目標やねらいを伝えられている。 ○お子さんは、規則正しく生活を送っている。 ○お子さんは、学校で友達と仲良くすごしている。 ○学校は、お子さんの能力や努力を適正・公平に評価している。 ○学校は、体験したり、自分で考えたりする授業を行っている。 ○学校は、お子さんの体力向上に向けた取組を行っている。 ○学校は、保護者の相談や学校への要望などに親身に対応している。 ○学校は、開かれた学校づくりに努めている。 ○学校は、HPや学校だより等でお子さんの様子や取組を伝えられている。 ○学校は、地域の人材や施設を活用して学習に取り組んでいる。 ○学校は、自然災害等緊急時への対応について指導・連絡ができています。 |
| <p>☆評価の低い項目
(「あまり思わない、全く思わない」の項目が20%を超えている)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○お子さんは、将来の夢や目標をもって努力(生活)している。 ○お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。 ○お子さんは、進んで読書をしている。 ○お子さんは、自分の考えや意見を伝える力が身についている。 ○学校は、いじめのない学校作りをめざし、組織的に対応している。 |

アンケート結果の考察

【保護者】

「そう思う」「だいたいそう思う」をあわせると、いずれもが90%以上という数値が11項目でした。昨年度より4項目増減していますが、多くの保護者は、学校生活において子どもたちは、楽しく有意義な学校生活を送っていると感じてくださっているようです。また、おたよりやホームページ等による情報発信をしっかりと受けとめてくださり、小学校生活での教育成果を感じ取ってくださっているようです。

「あまり思わない」「全く思わない」のポイントが20%を超えた項目は上記の5項目です。昨年度より4項目増えています。特に、毎年課題にあがっている「読書活動」については70%を超える低い評価となっていることは、環境づくりの改善・充実を図る必要があると考えられます。また、コロナ禍を経て伝え合う場が急激に増えたことで、「伝える力」が伴っているかどうかを意識する機会が増えていると思われます。

【児童】

保護者アンケートの結果と同じように「進んで読書をしている」が、下学年では40%、上学年では30%を超えて低い評価となっています。読書習慣の定着は、学力の向上に大きく影響してきます。音読や週末読書、町立図書館からの図書の出し等、今後も取り組みを継続していきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

【教職員】

昨年に引き続き、「読書の習慣」「自分の考えや意見を伝える力」に課題を感じています。コロナ禍を経て生活様式が元に戻りつつある中で、意見を伝え合う場や人と関わる機会がさらに増えたことにより、同じ課題が浮かび上がってきています。全教職員で柔軟に受けとめ、教育活動の改善をより強力に進めていきたいと考えています。

今後とも、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。